

能美市誕生20周年記念事業 敬老会

能美市老人クラブ連合会 文化芸能発表会

日時 令和7年10月9日(木) [受付開始・開場12:40]

会場 根上総合文化会館 音楽ホール「タント」

[同時開催] 余技展／根上学習センター展示ホール 10月9日(木)～11日(土)

対象 敬老会対象者(75歳以上の市民)及び能美市老人クラブ連合会会員
※ご家族、ご友人の方もお越しいただけます。

プログラム

第1部 能美市老人クラブ連合会 文化芸能発表会

13:10～

*豪華景品が当たる抽選会があります！

第2部 能美市敬老会 ～民謡・津軽三味線～

15:00～

出演



加賀山 昭



加賀山 紋



一川 明宏

閉会 お帰りの際に記念品をお渡しします。

16:00 ※バスがご利用いただけます。別紙バス時刻表をご確認ください。

共催：能美市、能美市老人クラブ連合会 後援：エフエム石川



Nomi city × Cinnamoroll
したいこと、能美市だったら叶うかも
© 20 SANRIO CO., LTD. APPR. NO. 1055819

第2部 出演者プロフィール



加賀山 昭 (かがやま あきら)

● 石川県珠洲市三崎町出身

昭和46年／金沢民謡会に入会。

昭和50年／金沢市観光会館で初リサイタルを開催。地元民謡界に旋風を巻き起こし、三和完児先生の命名で「加賀山 昭」となる。翌年、加賀山会結成(石川、富山)。東芝レコードより「七尾まだら」「加賀長持唄」でデビュー、専属となる。

昭和56年／「NHK名曲アルバム」に出演。「越中おわら」を演奏。「加賀山昭民謡集」三味線譜、鳴物譜を出版。第1集～第18集発行。

昭和62年／北国芸能賞受賞。(11月3日)

平成 3年／「全楽譜・北陸民謡集」(楽譜、解説付)出版。珠洲市文化功労賞受賞。

平成15年／松竹公演「風のなごり」芝居出演(新橋演舞場、京都南座)。「100回公演達成記念」オーケストラ・アンサンブル金沢と共演し(北陸3県の公演も今までに127回を数える)、その記録を「加賀山昭withオーケストラ・アンサンブル金沢」としてCD化。<日本伝統文化振興財団から発売中(VZCG-321)

平成22年／石川県文化功労賞受賞



加賀山 紋 (かがやま あや)

● 石川県金沢市出身

平成17年10月／高校卒業後民謡歌手の早坂光枝師の許で2年間内弟子に入り、ビクターよりデビューミニアルバム「加賀山紋の民謡」をリリース。現在では父・加賀山昭の許で、民謡を勉強する傍ら、長唄(鼓)を杵屋喜三以満師に師事し、2010年に望月太満紋を襲名。

最近では、民謡を知らない子供達に民謡の素晴らしさを知ってもらおうと、「民謡寺子屋教室」を児童館や小学校にて開校。民謡の伝承者としても活動を広げている。

平成20年より、「紋もよう」と題して加賀山紋コンサートを開催している。

平成20年11月／セカンドアルバム「紋もよう」をリリース。

平成26年／「北国芸術賞」を受賞。

平成29年／中能登観光特使に委嘱。翌年には東アジア文化都市・雪氷祭り開幕式出演(中国・ハルビン市)。

平成31年／石川県文化奨励賞を受賞し、令和5年には、いしかわ百万石文化祭2023のオープニングステージ出演を務めている。

民謡以外の活動にも意欲的に取り組み、民謡ベースとしたマルチプレイヤーとして幅広い活躍が期待される。



一川 明宏 (いちかわ あきひろ)

● 石川県金沢市出身

昭和50年より、加賀山昭氏に師事し、三味線、唄、太鼓、胡弓を学ぶ。

平成10年／津軽三味線 明宏会 設立。

津軽三味線の技術を磨くため、本場青森県ほか各地で開催されている津軽三味線全国大会に出場し、平成10年に「津軽三味線全国東京大会」実年じょんから節の部で全国優勝を果たして以来、数々の上位受賞歴を残す。

津軽三味線の哀愁と、力強さと音色の美しさにこだわりを持ち「心で弾く」三味線を追求しつづけている。

平成20年／北国芸能賞受賞。

平成21年／内灘町民活動賞受賞。

北陸における津軽三味線指導者第一人者として、現在までに延べ約250人を指導。門下の生徒からも津軽三味線全国コンクールで優勝・上位入賞者を多数輩出し、一川明宏とその一門として県内外のイベントで活躍している。